

四季の里の活性化に向けた ワークショップ



日時：令和7年1月25日(土) 午後2時～
場所：四季の里 憩いの館

1. 園内概要

水林自然林



樹齢100年を超えるアカマツやイヌシデ等をはじめ、多くの植物や野鳥が生息しています。また、朝の連続テレビ小説「エール」のオープニング撮影地にもなりました。

工芸館



ガラス小物や土湯こけし、6次化商品の販売の他、ハンドメイド作品の展示販売もあります。なおガラス工房は平成30年度で体験事業を終了し、現在は暫定的な利用となっています。

じゃぶじゃぶ池



扇形の水遊び場です。地下水をひいているため、夏でもひんやり気持ちよく、子どもと一緒に大人も楽しめます。

花の丘・円形花壇



フランス庭園様式を取り入れた円形花壇には、マリーゴールドやペコニアなど植栽されており、四季折々の美しい風景を楽しめます。「恋人の聖地」のシンボリックなエリアです。

農産加工物



市内農家の方が館内の設備を利用して加工品を製造することができます。(要予約)

農園レストラン



アサヒビールやジンギスカンなどが楽しめる施設でしたが、令和5年10月末に撤退してしまい、現在は空きテナントになっています。

農村いちば

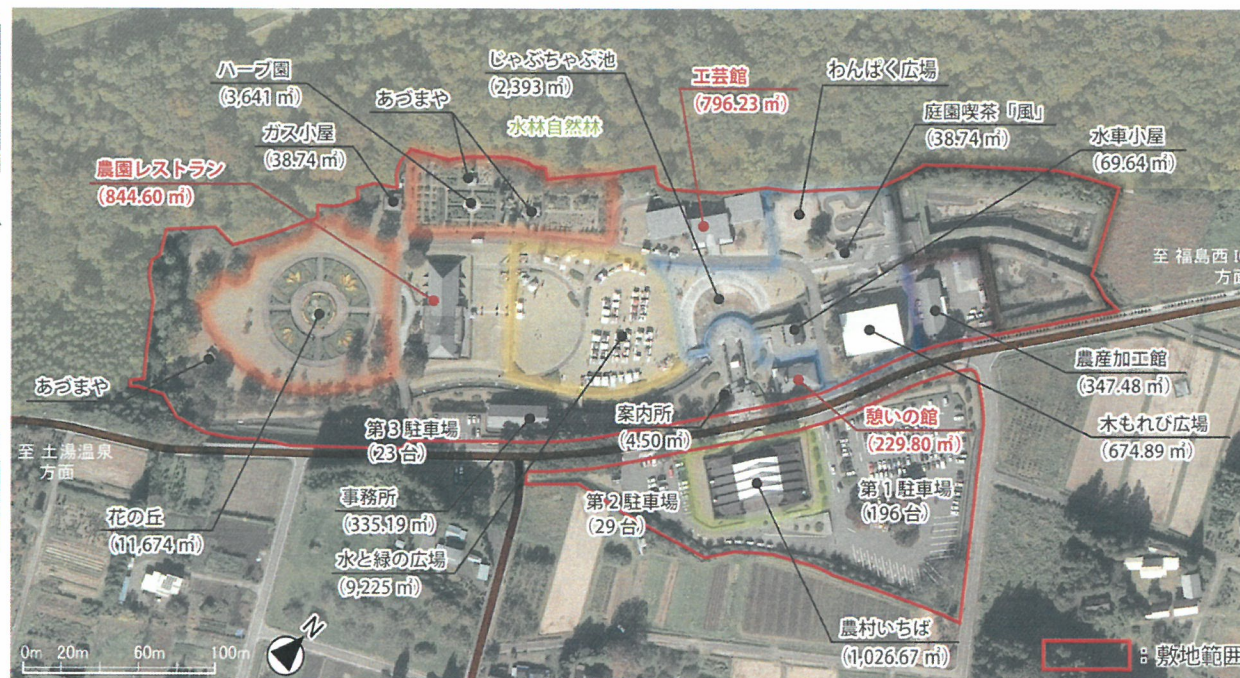


お土産店があり、福島の特産品が購入できます。また三角屋根の下で開催する「朝市」は、新鮮な地元野菜や果物が購入できる人気のイベントです。

憩いの館



蕎麦が食べられる施設でしたが、令和3年1月末に撤退してしまい、現在は空きテナントになっています。



木もれび広場



開園20周年に新たに設置された屋内遊び場施設です。天気の悪い日でも思う存分体を動かすことができます。

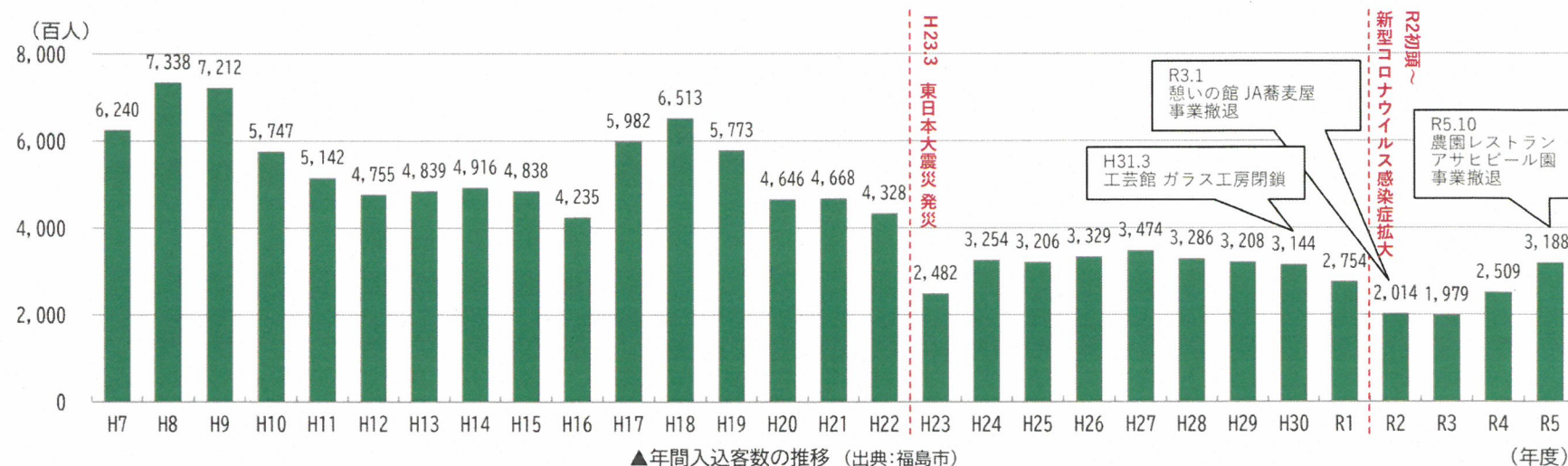
水車小屋



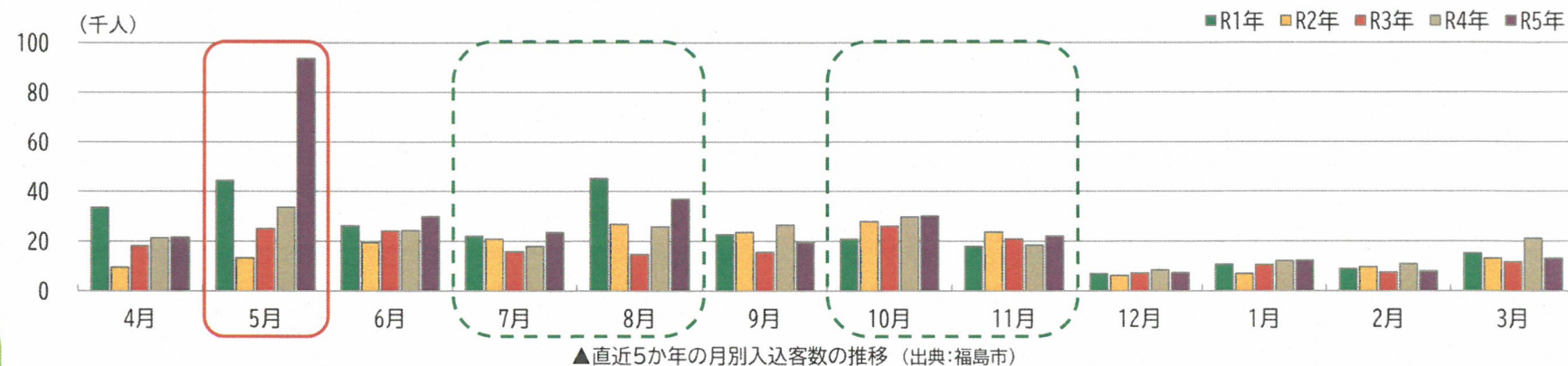
直径6mの大きさの水車がゆっくりと回っています。また小屋内では、常時10種類ほどのジェラートが食べられます。

2. 利用状況

四季の里の来園者数は、開業直後の平成8年度に年間最多来園者数(733,843人)を記録しました。近年は新型コロナウイルス感染症の拡大や、テナント事業者の撤退等もありましたが、令和5年度はこれらの影響前(平成30年度)と同水準の年間来園者数318,764人を記録しました。



月別の利用者推移を見ると、例年5月・8月が多い傾向にあり、令和5年度はGW時におけるイベント等の積極的な実施により5月の来園者数が特筆して多い傾向にありました。なお市内他施設においては、GWのある5月の他、夏休みと市特産品の桃の旬が重なる7~8月、また紅葉シーズンの10月~11月にも観光入込客数のピークがあることから、周辺施設との連携次第では大きな伸びしろがあります。



3. 主なイベント実施状況

項	日時	イベント名	形態	参加人数
1	4/6(土)7(日)	うちの仔市場in四季の里	うちの仔市場実行委員会	(2日間計) 9,300人
2	4/13(土)14(日)	ピクニック・ガーデン	キングプランツ	(2日間計) 4,360人
3	4/21(日)	シッポdeマルシェ	ようせいのシッポ	2,498人
4	4/27(土)～5/12(日)	四季の讃歌展(絵描きの庭, 菅野愛希さん個展)	自主事業	(3日間計) 15,494人
5	5/3(金)～5(日)	こどもまつり	指定管理事業	(2日間計) 8,268人
6	6/1(土)2(日)	バラまつり(あづまバラ園共同開催)	自主事業	(2日間計) 8,202人
7	6/11(日)	あらかわ・ふるさとの川ウォーキング大会	共催	2,297人
8	7/13(土)	流しそうめん	定住交流課	5,145人
9	8/3(土)	GAZOO.com愛車広場	指定管理事業	5,145人
10	8/24(土)	夏まつり・花火大会(婚活イベント)	指定管理事業	5,145人
11	8/31(土)9/1(日)	RFCラジオまつり	主催: ラジオ福島	(2日間計) 1,973人
12	9/21(土)～9/23(月)	ふくしまSHOW カレーまつり	主催: テレビユー福島	(3日間計) 9,008人
13	10/5(土)6(日)	秋まつり	指定管理事業	
14	11/3(日)	あづまの郷ウォーキング大会	実行委員会	
15	12/8(日)	あづま荒川クロスカントリー大会	実行委員会	
16	12/21(土)2/16(日)	イルミネーション点灯	指定管理事業	
17	2/1(土)	冬の花火大会	指定管理事業	
18	3/15(土)16(日)	手ぶらでBBQ	LAB	

4. 主な近隣施設①

温泉

飯坂温泉

温泉街を流れる摺上川沿いに旅館が建ち並ぶ“福島のお座敷”。松尾芭蕉が立ち寄り湯につかったとされる鯖湖湯をはじめ9つの共同浴場があり、手軽に温泉巡りが楽しめます。



出典:福島市HP

高湯温泉

白布温泉、蔵王温泉とならび奥州三高湯の一つに数えられる温泉です。2010年、東北初の「源泉かけ流し宣言」を発表しました。乳白色のお湯は、肌がすべすべになると人気を集めています。



出典:福島市HP

歴史文化

土湯温泉

1,400年以上の歴史を持つ温泉は「東北三大こけし発祥の地」として有名で、豊富な湯量と全国でも珍しい10種類以上の泉質を持ち、「土ゆっこ」「かじかの湯」「月の湯ぶじえ」「きぼっこの湯」と4つの足湯が楽しめます。



出典:福島市HP

民家園

江戸時代中期から明治時代中期にかけての県北地方の民家を中心に、芝居小屋、宿店、料亭等を移築復原しています。芝居小屋の旧広瀬座は国指定重要文化財となっており、年中行事の再現や、民具製作の実演などの伝承活動も行っています。



出典:福島市HP

4. 主な近隣施設②

観 光 施 設

道の駅ふくしま

2022年4月、東北中央自動車道「福島大笹生IC」出口付近にオープンした道の駅です。吾妻連峰を見渡すロケーションに位置しており、ここでしか味わえない地元グルメや産品が揃います。また「屋内こども遊び場」や「ドッグラン」があり、1日楽しめます。



出典:福島市HP

道の駅つちゆ

福島県第1号の道の駅として平成5年4月にオープンしました。市街を一望できる国道115号沿いにあり、周辺には様々な温泉が点在し、湯めぐりのターミナルとなっています。旬の果物や土湯こけし、名物ちぎりこんにやくが楽しめます。



出典:福島市HP

アンナガーデン

福島市と吾妻連峰の山麓に位置しており、聖アンナ教会を中心に、個性豊かな逸品を扱うショップが揃っています。四季折々の風景を眺めながら、地ビールやこけし館、雑貨、グルメを楽しむことができます。



出典:アンナガーデンHP

あづま総合運動公園

吾妻連峰の麓、荒川沿いにある面積100haにも及ぶ広大な広域公園です。陸上競技場や野球場、総合体育館等の運動施設のほか、家族で楽しめる公園や歴史・文化施設など多種多様な施設があり、一年を通して楽しめます。



出典:福島市HP

4. 主な近隣施設③

観 光 資 源

フルーツ

福島市は初夏から初冬にかけて様々なくだものが採れる「くだものの宝石箱」です。中でも全国トップクラスの出荷量を誇る【桃】は、福島市を代表する果物です。「あかつき」や「まどか」など豊富な品種が数多く並びます。



出典:福島市HP

吾妻五葉松

あづま山麓周辺に自生する五葉松は「吾妻五葉松」と呼ばれ、四国五葉松、那須五葉松と並んで「日本三代五葉松」に数えられています。盆栽の世界では、世界中の盆栽ファンに知られるブランドとなっています。



出典:福島市観光コンベンション協会HP

あづま山麓蔵元ツーリズム（金水晶四季の蔵など）

「あづま山麓エリア」には、14年連続水質日本一に選ばれている「荒川」など吾妻山麓の伏流水を活用した多様な酒（日本酒・ビール、ワイン、どぶろく等）を醸造する蔵元5つが集結しており、令和6年春より「あづま山麓ふく酒街道」としてPR・周遊事業等を展開しています。



出典:福島市観光ノートHP

朝ドラ『エール』ロケツーリズム（水林自然林など）

朝の連続テレビ小説「エール」のロケ地に福島市民家園や、四季の里に隣接する水林自然林が起用されました。「古閑裕而記念館」など、朝ドラに関する観光スポット巡りの一環としても利用者が訪れています。



出典:福島市HP



5. 四季の里リニューアルコンセプト

吾妻山のふもとで四季を通じて子どもから大人まで時間を忘れて楽しめる公園

吾妻山の麓に位置し、近くには清流日本一の荒川が流れ、水林自然林にも隣接している恵まれた自然環境を活かし、子どもは四季を通じて遊び・学び・様々な体験をして過ごし、大人は四季を感じながらゆっくりとした時間を過ごすことのできる、幅広い世代が時間を忘れて滞在したくなる施設を目指します。

【ターゲット及び施設全体で目指す提供価値（案）】

ターゲット層	目指す提供価値（案）	導入機能・取り組み例
①ファミリー層 	- 既存の遊び場・遊具を目的として利用しているファミリー層が長時間滞在可能な場・コンテンツの提供を図る。 「遊び」のみならず、「体験」や「学習」といったコンテンツの強化により、「何度も訪れたくなる」複合的魅力の提供を図る。 - 子どものみならず、親世代からも「お出かけ先」として選ばれるコンテンツの提供を図る。	▶ 季節、天候に関わらず利用可能な遊び場 ▶ 親子で利用可能な飲食・休憩機能（昼食利用等） ▶ 吾妻山に関連する地域資源の学習機能 ▶ ものづくりメニューの拡充 ▶ 親子で参加可能なイベントの積極実施 ▶ テイクアウト可能な飲食、物販機能 ▶ 「あづま山麓エリア」の魅力・情報発信機能
②若年層 	「あづま山麓エリア」等の観光周遊の目的地、あるいは立寄地の1つとして選ばれるコンテンツの提供を図る。 ゆっくりと時間を過ごし、語らうことのできる環境の提供を図る。 - 旅行や来訪時の思い出・記念となるフォトスポット及び環境の提供を図る。	▶ テイクアウト可能な飲食、物販機能 ※再掲 ▶ フルーツ等の特産品を活用した飲食機能（カフェ等） ▶ 花の丘や芝生広場の利用を想定したアウトドア用品（テント、タープ等）等の貸出機能 ▶ バラ園・ハーブ園など園内植栽の情報発信機能 ▶ 若年層向けイベントの実施
③シニア層 	- 園内散策などゆっくりとした時間を過ごすことのできる環境の提供を図る。 あづま山麓エリア、四季の里「ならでは」の体験や学びの提供を図る。 次の目的地や旅先の検討に役立つ情報の提供を図る。	▶ 「静・動」のエリア分けに留意した導入機能検討 ▶ ゆっくりくつろげる飲食・休憩機能（カフェ等） ▶ 吾妻山に関連する地域資源の学習機能 ※再掲 ▶ 「あづま山麓エリア」ならではの物販機能 ▶ 「あづま山麓エリア」の魅力・情報発信機能 ※再掲

ワークショップの進め方

- ▶ (1) 自己紹介・発表者の決定 (5分)
- ▶ (2) キーワード、テーマの確認
- ▶ (3) 意見の記入
- ▶ (4) 発表内容の決定 ((2)~(4): 30分)
- ▶ (5) 発表 (3分)

各グループにファシリテーターを配置

(1) 自己紹介・発表者の決定

▶ ① 自己紹介

→ 団体・組織等、名前、一言

▶ ② 発表者の決定

自薦・他薦、選ぶ方法を問いません

→ 発表者 ()

(2) キーワード、テーマの確認

▶ ① キーワード

「四季」、「誰でも楽しめる」

▶ ② 共通テーマ

A、Dグループ…農業・観光(インバウンド含む)の振興

B、Eグループ…自然や周辺施設の活用・連携

C グループ…ファミリー層が楽しめる事業

▶ ③ フリートーク

テーマ、キーワード関係なし

(3) 意見の記入

▶ 思いついた考えを付せんに記入する

(例1) 農産物の活用から深掘りする

レストラン〇〇を出店し、市産野菜や果物を使用したサラダやスイーツ等のメニューを提供する。

深掘り

ロバを飼い、乗馬やふれあい体験施設を作る。フードロスの観点から、食べ残しや規格外野菜等をエサに使用。

(例2) 冬のイベントから他季節を考える

四季の里の雪を利用した、アイスクリーム作り体験。(リンゴ加えても良い!)

秋なら…

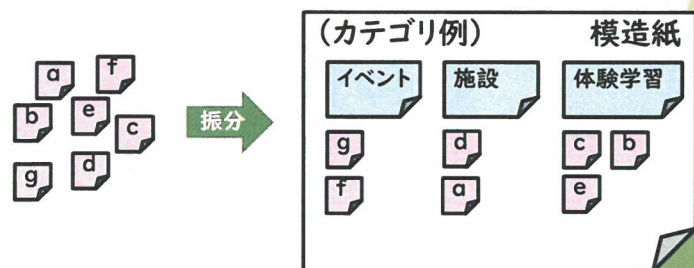
落ち葉を利用した、落ち葉プール、焼き芋、焼き銀杏を食べるイベント

その他、カテゴリ(【例】イベント、施設、体験学習など)から考えてみるなど、自由な視点で考えてOK

(4) 発表内容の決定

▶①グループ内の意見を整理

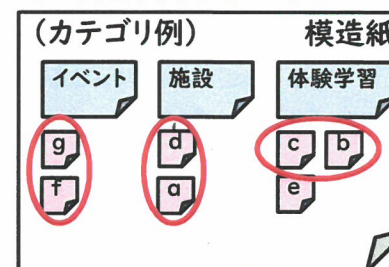
出された意見からカテゴリを作り、模造紙に貼って
振り分ける



(4) 発表内容の決定

▶②発表する意見のピックアップ

振り分けた意見が多い場合、発表するものを選ぶ
(例) 意見が多かったもの、地域や施設の特色をとらえている
もの、面白そうなもの など



(5) 発表

▶発表内容

- ・話し合った共通テーマ
- ・出された意見から作ったカテゴリ
- ・カテゴリごとの意見
- ・共通テーマ、フリートーク それぞれ

→発表内容を、参加者全員で共有

メモ欄

